

日本学生支援機構奨学金について

日本学生支援機構の奨学金は、大学等の学生を対象とした国が実施する奨学金です。
学生が自立して学ぶことを支援するために、学生本人が貸与し、卒業後本人が返還していくものです。
またこの奨学金は、年に1度奨学生としての適格性の有無を確認し、貸与継続の可否を判断する「適格認定」を実施しており、卒業まで無条件で借りられるものではありません。
このことを理解し、有効かつ計画的に利用しましょう。

◎令和5年度大学院奨学生採用候補者の方へ（大学院予約採用）

学士4年生の秋に日本学生支援機構の大学院奨学金を予約採用で申請し、採用候補者となった学内進学者の方には、2023年1月に「採用候補者決定通知」をお渡ししています。
同封の説明書類を熟読のうえ、奨学金申請時に選択した条件から変更できる項目について、現在の経済状況に照らし再度検討し、入学後「進学届」を速やかに提出できるよう準備しておいてください。

【進学後の手続きの流れ】

- ① 「令和5年度大学院奨学生採用候補者決定通知書（進学先提出用）」の提出
※通知書下段にある本人記入欄に必ず記入してください。
- ② 大学から「進学届」提出に必要なID・パスワードを受取る
- ③ 日本学生支援機構のウェブサイト「スカラネットパーソナル」から「進学届」を提出

※詳細は、大学ホームページをご確認ください。

<https://www.kochi-tech.ac.jp/student/scholarship/masters.html>

◎大学院進学後に新規で奨学金を申請したい方へ（在学定期採用）

大学院進学後、新たに奨学金を申し込むことができます。
申請を希望する方は、ポータルアンケートに回答し、申請書類を入手してください。

※詳細は、大学ホームページをご確認ください。

<https://www.kochi-tech.ac.jp/student/scholarship/post-65.html>

◎大学院第一種奨学金「特に優れた業績による返還免除制度」について

日本学生支援機構奨学金では、大学院第一種奨学金の貸与を受けた学生のうち、大学院在学中に特に優れた業績を挙げた者として機構が認定した場合に、大学院奨学金の全額または一部の返還が免除される制度があります。（「特に優れた業績による返還免除制度」）
募集時期は、貸与終了年度もしくは満期予定年度の1月頃です。
研究面での顕著な成果等の業績により選考されるため、申請には業績を証明する資料の提出が求められます。

◎在学による返還期限猶予を希望する方へ

大学で日本学生支援機構の奨学金の貸与を受け、本学大学院在学期間中の奨学金返還期限猶予を希望する場合は、大学院進学後にスカラネット・パーソナルから「**在学猶予願**」を提出してください。提出がない場合は貸与期間終了の翌月から数えて7ヶ月目より返還が開始されます。

<在学猶予願の必要がないケース>

奨学金の申請をスカラネットから行った際に、学士課程在学時に貸与を受けていた奨学金の奨学生番号（前奨学生番号）を入力していれば、在学猶予願を提出する必要はありません。

ただし、予約採用を辞退した方は、在学猶予願を提出してください。

注) 在学猶予願提出後は、スカラネット・パーソナルの「詳細情報」タブから処理状況を確認してください。処理状況は学校確認証明後、日本学生支援機構の承認に基づき更新されます。

スカラネット・パーソナルURL: <https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/>

注) 「在学猶予願」入力画面で、学校番号と、区分コードの入力が求められます。

本学の学校番号は【208004】、区分コードは【00】です。

在学猶予提出締切 2023年5月31日(水)

◆奨学金を申し込む前に

「日本学生支援機構ホームページ」

<http://www.jasso.go.jp/>

「奨学金貸与・返還シミュレーション」貸与額・返還額が試算できます。

<http://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>

◆奨学生に採用されたら

「スカラネット・パーソナル」自身の貸与状況や返還状況をいつでも確認できます。

<http://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/>